

おととし

Information

■通学路の子どもを守ろうキャンペーン開催

例年キャンペーンは7月に行っていましたが荒天のため延期になり、9月24日開催となりました。大歳自治振興会安心安全部会、山口警察署、山口市、交通安全協会、交通安全対策協議会、おとし見守り隊の皆さんが早朝より石州街道のはるばん前に立ち、児童の登校を見守り、通学路の安全を通行車両にPRしました。



■大歳地区一斉清掃

10月18日は大歳地区一斉清掃でした。コロナの影響で今年度は各自治会の判断での開催となりましたが、多くの自治会で清掃が行われ、地域内をきれいにいただきました。草刈り隊のみなさんも河川周辺の草刈り活動を行いました。今年度はバックホーをレンタルし、和田・三作の吉敷川土手数百メートルを1日がかかりきれいにしました。

清掃に参加されたみなさん、大変おつかれさまでした。ありがとうございました。



バックホーの効果



■大歳自治振興会事務局長募集

令和3年4月からの事務局長を募集しています。詳細は事務局（☎920-1700）まで。

行/事/予/定 11~1月

- [中 止] 第21回大歳地区分館対抗ソフトバレーボール大会
- 12月5(土)~6日(日) 第35回大歳体育振興会長杯争奪少年サッカー大会【維新公園ちよるる広場】
- 1月10日(日) 山口市消防出初式【山口南総合センター】
- 1月10日(日) 山口市成人式【山口市民会館】

■やまぐち車座トーク21開催

今年度はコロナウィルス感染防止のため、大歳自治振興会役員のみ出席で10月20日に開催されました。渡辺市長から市政報告やコロナウィルスへの対応状況等の説明のあと、意見交換が行われました。自治振興会からは、①大歳駅のトイレ改修、②有害鳥獣対策、③朝田バス停付近の駐車場整備、④水害対策として河川の浚渫と避難所の検討、⑤地域の現状に即した車座トークの在り方、⑥コロナ等に関する情報発信について要望、意見が出され、市長さんからは、大歳駅トイレ改修の早期予算化の方針など前向きな回答がありました。車座トークの内容は、市広報広聴課で議事録がまとまり次第、センター市政情報コーナーに整理票が配置されます。

渡辺純忠市長



■山口市花いっぱい運動花壇コンクール結果

大歳地区の花壇コンクール入賞団体を山口市のコンクールに推薦していましたが、岩富子ども会が優秀賞を、中矢原子子ども会と下湯田自治会が優良賞を受賞しました。入賞されたみなさん、おめでとうございます。



優秀賞 岩富子ども会

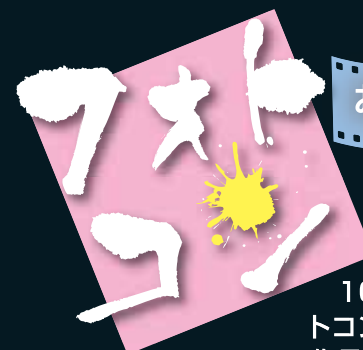
編集後記

通学路の朝の進入規制。車の通行量は減ったが、安全になったとはいえない状態。ところで朝7時45分から8時までの15分間に数百人の小学生が校門をくぐっています。この15分間に大人は何ができるのか。「15分間の車ゼロ」。大人の愛情と決断が問われています。(武波)

まちづくりかわら版

おとし

2020.11
Vol.66



第4回
おとしフォトコンテスト

大歳の自然・風景・歴史
大歳を広くアピールしよう!

10月21日、第4回おとしフォトコンテストの審査があり、4点の作品が賞に選ばれました。



銀賞 「我が家は繁栄」 高宇知邦彦

交流センター1階に作品を展示しています。大歳自治振興会のfacebook,HPに先生の講評入りで掲載しています。



金賞 「晴れの予感」 山根 邦明



銅賞 「埴輪たちのピクニック in朝田古墳」
山口総合支援学校中学位
2-1、2-2組



銅賞 「朝のかたらい」
稲子田 光男

(7時半~8時半)

進入規制により 登校時の通学路の車が激減!

交通安全
特集2

9月28日から始まった大歳小周辺の車両進入規制によって、小郡→山口方面の車は、これまでほぼ同数であった逆方向の3分の1に激減しました。しかし、まだ安全といえる状況ではありません。

目標! 15分間は「車ゼロの通学路」に

校門前で調査をして驚きました。7時45分から8時までの15分間に9割近くの子もたちが校門をくぐっており、8時以降は子どもの姿はほとんどありません。

15分間に集中して登校する子どもたちの努力にむくいる大人の決断が求められています。15分間は校門前を通らないようにしましょう。

大歳小学校前石州街道 一週間の交通量

(7時半~8時15分の間の車の通過台数)

小郡→山口方面	49~91台	平均	64.2
山口→小郡方面	149~186台	平均	170.3
学校への送迎車	18~31台	平均	24.8

(7時45分~8時の車の通過台数)

小郡→山口方面	18~34台	平均	26.4
山口~小郡方面	52~66台	平均	60.6
総計		平均	87台



大歳橋付近



大歳小前 8時15分前



大歳小前 8時以降

農業に大打撃 大歳でもウンカ大発生！！

今年のウンカ被害は深刻です。枯れた稲穂があちこちにできる「坪枯れ」という常識を覆し、田んぼ一面、枯れて倒れた稲穂の波が広がっています。JAの営農指導員の話では、近年異常気象の影響で偏西風が強くなり、これに乗って大量のウンカが飛来するようになったこと。とりわけ今年は、これまでとはけた違いに多数のウンカが根元に寄生したため被害が極めて大きくなったこと。「葉が効かなかった」との風聞がでるほど、ウンカの根絶が困難で被害が広がったとのこと。

ウンカ被害とは

ウンカは大陸から飛来してイネの根元にはり付き、茎や穂を枯らしてしまい、古来から凶作の原因とされてきました。根元から広がるため、ウンカ被害発生後では防除が困難なのが問題です。



一部がウンカ被害にあった田の様子

とりわけ、住宅密集地の近くでは早期にヘリコプターによる防虫がしにくく被害が大きくなったそうです。しかし、大歳の受託組合の請負地域では、ウンカ被害が出始めた段階で「早刈り」を決断したことで、被害の拡大を一定食い止めることができたとのこと。ともあれ、全国で米価下落が問題になる中で、ウンカによる収量減のダブルパンチを受けた山口県の窮状にはぜひとも行政の支援を望みます。

石州街道「通行封鎖」 矢原川原の軍事演習

京都を追われ、山口に逃れていた三条実美公は、文久4(1864)年の正月は湯田の何遠亭で迎えます。藩主は、正月11日に、途絶えていた年頭行事の具足祝式を中河原の御屋形で行います。藩主以下参加者全員が甲冑を着て行事にのぞみますが、この年は例年になく、御軍律が読み上げられるなど、年初より藩内の戦時意識を高めていきます。この時期藩内は、昨年の下関事件(外国船砲撃)の報復攻撃への準備や、8.18政変以後の復権を目指して上洛する動きも活発化しています。こうした緊張が高まる中、元治元(1864)年3月5日に(註1)、榎野川の矢原川原(矢原河川公園)で歩・騎・砲の3兵隊の軍事

演習が行われます。藩主父子は六卿(註2)とともに視察し、演習後の宴会で、三条実美公は、長州藩の鉄砲や大砲の技術、訓練されている兵隊を観て、大変喜



「明治維新と大歳」
平成30年3月30日発行に写真掲載

具足祝式



石州街道幕末事件簿 其の3

びます。その後、三条実美公達(註3)は増強された兵備の視察に、赤間関(下関)にいきます。3月26日に、諸士数十人を率いて湯田を出て、宿駅・黒川市を通り、山陽道に入り、27日の夜に赤間関(下関)に着きます。滞在中一行は、壇之浦での鉄砲の演習や前田の大砲などを視察し、亀山八幡宮や阿弥陀寺(赤間神宮)なども参拝して、4月5日に湯田に帰っています。(註4)

註1)2月20日から元治に改元

註2)7卿の一人、沢宜嘉(さわのぶよし)は前年の10月に但馬生野の拳兵に参加するために、長州を離れています。

註3)7卿の一人、錦小路頼徳(にしきこうじのり)は、視察途中、赤間関で病死します。

註4)この年はその後、禁門の変、四国連合艦隊下関砲撃事件、第一次征長戦争、高杉晋作功山寺決起と歴史は動きます。

Welcome Ootoshi

大歳の気にするお店

喫茶 簀 かがり

大阪から60年ぶりに生まれ故郷に帰り10年、人との交流を求めて喫茶店を始められた店主さんは、センスの良い話し上手のママさんでした。

当初は、軽食やケーキ、パンなどのメニューもありましたが、年と共にメニューを縮小し、今はコーヒーが主。三種類のスペシャルティコーヒー豆は、いつも引き立ての香りが楽しめるサイフォン式です。オレンジ色の灯の下、アンティークに囲まれた店内に身を置くと、ほっこりして時間が経つのも忘れそうです。

普段は常連さんがほとんどで、ママさんとおしゃべりを楽しみながらゆっくりすごされるとか。開店当時から店のマスコットの存在だったティーカップブードルの愛犬リリさんは、クッションの上で寝ているこ

とが多くなったけど、今も犬好きのお客さんから声をかけて貰っています。

「コーヒーを立てながら好きな器に囲まれて暮らしたい」と話されるママさん。とっておきのカップで入れたての香ばしいコーヒーを楽しむにはもってこいのお店です。

ご来店の際には、少人数で……



愛犬リリさん

山口市矢原町642-17
営業時間/12:00~16:00
TEL/083-922-8878
定休日/火・日曜・祝日+不定休
席数/13席
駐車場/店舗横に有り(4台)

子どもと高齢者のドッキングで「楽しさ」を実感

人口の増え続ける大歳には、新しい高齢者施設や保育園などが増えてきています。そうした中に「社会福祉法人同朋福祉会」が運営する有料老人ホーム「Gracefulとの園」があります。市の公募事業でしたが、とのその保育園を併設するという案は市からも評価、期待されました。

との園の2階の食堂から子どもたちの遊ぶ姿や歓声が聞こえます。それを見つめるお年寄りのみなさんのやさしいまなざしは愛しい孫やひ孫を見つめるまなざしにそっくりです。

4月の花祭り、9月の敬老会、12月のもちつき大会には、保育園に出かけて一緒に楽しめます。さらに、ごっこ遊びの会で、お手玉など昔の遊びを楽しんだり、保育園の運動会にも招待され、グラウンドに出て一緒に応援したりもしています。

ただ、保育園はしばしば伝染病の流行に見舞われます。いわんや、コロナ禍の現在では、老人ホームは家族との面会さえ制限せざるを得ない状況ですから、子どもたちとの交流は不可能になっています。それだけに、遠くからではあっても食堂から見える子どもたちの姿や声は、お年寄りにとって一番のストレス解消法でもあります。

子どもと高齢者がドッキングする施設はもっと増えて良いのではないのでしょうか。また、同施設は勝井自治会と、洪水などの災害の際の一次避難場所となることを契約していただいています。



施設長 平井 康一さん

